

拠点名称：アシル-トイタによる心と体に響く新しい食の価値共創拠点

| | | | |
|-------|---|------------|---------------------------------------|
| 代表機関 | 室蘭工業大学 | プロジェクトリーダー | 徳樂清孝 室蘭工業大学教授 クリエイティブコラボレーションセンター長 |
| 幹事自治体 | 白糠町 | 幹事機関 | (企業等) 株式会社カネカ、NTT東日本株式会社、北海道 |
| 参画機関 | (大学等) 北海道大学、産業技術総合研究所 (企業等) 株式会社大前産業、株式会社カネカ北海道、三興株式会社、住商アグリビジネス株式会社、株式会社AutoPhagyGO | | |

プロジェクトの概要

「アシル」とはアイヌ語で「新しい」という意味です。「トイタ」は「土地を耕す」ことを意味します。私たちはアイヌの知恵に学び、白糠町の大地、文化、自然、そしてヒトのつながりを新しく耕すことで、人々が集い住みたくなる豊かな町にします。

本拠点では、白糠町特有の気候風土で生産が可能な地域独自の体に響く『食物』を開発し、合わせて栄養や機能情報と文化や伝承などの在来知情報を融合した心に響く『食物語』を消費者と共有するしくみを共創します。これにより、作りっぱなしの一次産業から脱却し、農業が子供達に継がせたい魅力的で誇れる職業へと変容します。『食物語』をキーワードに人々がつながる社会が形成され、「人々が集いなくなる、住みなくなる、豊かな食のまち」へと変貌することが期待されます。

<https://asir-toyota.com>

